

# 釧路

KUSHIRO

子どものむし歯予防講演会

平成27年1月31日 釧路市民文化会館小ホール

北海道大学の八若保孝教授を講師に迎え「フッ化物でむし歯予防」という題目で講演会を開催しました。

当日、道東地方は暴風雪警報が出ており、釧路市内も風がとて強く、講師の先生が到着されるかどうか心配していましたが、時間通りに到着し無事定刻に開催できました。

講演では、う蝕の現状、う蝕の成り立ち、う蝕の状態、う蝕の予防、フッ化物の応について、市民にもわかるように、丁寧に解説していただきました。

フッ化物洗口に関しては、「真に反対する人をどうこうするつもりはありません。ただ、前向きな人の権利を取り上げてほしい」と語られました。

天候が悪く、来場された市民の方が少なかつたのは残念



でしたが、有意義な講演会となりました。(大澤正幸記) 第23回釧路歯科医師会学術大会

平成27年2月14日 釧路会館大講堂

第23回釧路歯科医師会学術大会がバレンタインデーに開催され、一般発表では下記の8演題でした。

- 1 次鳥優己先生 『当科における悪性腫瘍の臨床的検討 -最近12年間の症例について-』
- 2 川口泰先生 『上顎骨に発生した線維性異形成症の1例』
- 3 道念正樹先生 『当科における骨吸収抑制剤使用患者の治療について』
- 4 小林清美氏(北海道歯科衛生士会釧路支部・市立釧路総合病院) 『当院における周術期の口腔機能管理』
- 5 廣原裕智氏(釧路歯科理工士会・モダンタルラボ) 『グローバルデンタルシステムによる総義歯のガイドライン記入法』
- 6 伊藤理先生 『咬合支持域の不足をインプラント補綴により回復した1例』
- 7 岡田実雄先生『訪問歯科診療と多職種連携 -超高齢社会における歯科医師の役割を考える-』
- 8 蒲澤文克先生 『歯の長期保存への取り組み』



講演後も活発なディスカッションが行われ、出席者は、歯科医師42名・歯科技工士7名・歯科衛生士を含むスタッフ12名の総勢61名で大盛況でした。(佐々木豊記)



未就業歯科衛生士リカバリー運営補助事業

「歯科衛生士復職支援セミナー」

日時：平成27年2月21日 14:00～17:00

場所：釧路歯科医師会館 2階 大講堂

釧路・根室支庁管内での慢性的な歯科衛生士不足の解消するため今回初となる「歯科衛生士復職支援セミナー」が開催された。受講者は釧路市内より7名、中には1歳の赤ちゃんを抱いて参加する母親、ゲスト参加として離職して5年になる二児の母



で歯科医師の方もいらした。また、実習や体験談・相談会では受講者の心理的状況を考慮し、歯科医師不在で歯科衛生士会会員のみで行われた。このセミナーが参加してくれた方々の復職への一助となって頂ければ願っております。尚、セミナーの内容は下記の通りです。

1. 講義 「歯周治療の流れと基本的な知識について」 講師 ころの歯科医院 河野昭彦
2. 映像学習 「インストルメンテーション-7つのエッセンス」
3. 実習 「スケーリングとルートプレーニング」
4. 体験談 「復職経験者の体験談」 相談会 北海道歯科衛生士会釧路支部会員 (伊藤隆志記)



# 美唄

BIBAI

H26年度 デンタルタウンミ・ティンク

日時：平成27年2月14日 14:00～

場所：美唄ホテルエヒロ

富野会長就任第1期より、行政、政治家、議会等と関係を密にする場として組織化された会合、数年を経て日本全国に広まり、当会も道議の柿木氏、市長の高橋氏を選挙区にいただき、支持母体のひとつとなっている。

今年度、この会合に柿木道議、高橋市長をお招きし、歯科医療行政とマンパワーについて、特に歯科衛生士の活用について協議した。

道歯から、川原副会長、後藤(衛)専務理事に御出席いただいた。



残念ながら富野会長、悪天候につき東京から帰ってくることも叶わなかった。

8020推進条例の改正とも絡む、担当の川原先生と柿木氏が参加された会合だったので活発な議論がみられ、前向きな成果が得られると信じている。

医療行政は行政の要であり、市民にとって最大関心事の一つであろう。歯科関係者の行政への配置は必要であるという、これからの在宅を重視した医療福祉の転換に、乗り遅れることのないような先手を打つ必要がある。

当日は、同僚である当会医療管理担当川上理事の奥方、

美樹様の次期市議立候補(道歯連盟推薦)の御挨拶も行われた。(小森英世記)

平成26年度 道央北地区役員連絡協議会

日時：平成27年2月14日 16:15～

場所：美唄ホテルエヒロ

平成26年度道央北地区役員連絡協議会が、道歯科医師会より川原幸副会長、後藤専務理事が出席され、岩見沢歯科医師会・空知歯科医師会・美唄歯科医師会より21名出席のもと行われました。

今年度の協議事項として

1. 歯科医療行政とマンパワーについて - 歯科衛生士の活用について -
2. 各地域での在宅歯科医療連携の進捗状況と課題の2項目について協議が行われました。

どちらの項目においてもこれからの超高齢社会・2025年問題に向けて歯科衛生士の存在が重要になってくるの



だが、人口減少に悩む地方都市においては、まずその人材確保が大変困難であること、またそれは歯科界のみならず日本全体の問題でもあり行政への働きかけと同時に行政からの働きかけも重要であると話し合われた。そんな困難な状況のもと、岩見沢市と滝川市においては乳幼児保健のみならず在宅歯科医療においてもすでに歯科衛生士が活躍しており、その取り組み方にも大変感心した。美唄市も見習いたいところであり、今後とも連絡を密に取扱い地域歯科医療の向上に努めたい。(若本友理子記)

# 千歳

CHITOSE

平成26年度学術・地域医療合同講演会

日時：平成27年2月19日午後7時～

場所：エニカンビル 3階 会議室



平成26年度学術・地域医療合同講演会が開催されました。

前半は「障がい者・治療困難者への対応 麻酔管理を活用した安全・快適な歯科治療」と題して、札幌市の日之出歯科真駒内診療所の飯田先生をお招きしてご講演頂きました。

飯田先生は歯科麻酔専門医、障がい者歯科認定医等を取られており、標榜分野に非常に造詣の深い方です。講演では、歯科治療に伴うストレスとその生体にも与える影響に始まり、麻酔管理を活用する対象者として有病・高齢者、歯科治療恐怖症、異常絞扼反射、協力が得られない障がい



者、幼少非協力児、また管理法としてモニタリングのみのものから、笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法、静脈麻酔、全身麻酔それぞれの特徴を御覧頂きました。更には長時間全身麻酔下での全顎治療や入院下短期集中治療の症例も紹介いただきました。

日常臨床で遭遇する障がい者・治療困難者への対応法として有意義な講演でした。(松本敦至記)

後半は「CAD/CAM冠のセメント着着、最適なセメントは?」という演題でGCの歯科衛生士の竹見さんよりお話を頂きました。



昨年4月に保険導入された冠なのですが脱離等の問題があります。まず材質のブロックの説明からあり、強度と耐摩耗性に優れた柔軟性も備えたグラディアブロックの進化したセラスマートというブロックが最も良いとの事です。そしてそのブロックに強固に接着させるセメントとしてジーセムセラスマートが登場しました。

話はさらに保険の点数、支弁形成から装着のステップまで及びました。接着にはブロックとセメントの相性が最も重要なようです。現在導入されている先生は使われているブロックを是非ご確認下さい。資料もたくさん頂きました。資料もたくさん頂きました。資料もたくさん頂きました。資料もたくさん頂きました。(青山康彦記)

# 後志

SHIRIBESHI

ボウリング部 2月例会

日時：平成27年2月10日 午後8時00分より

場所：岩内ファミリーパウル



今例会は井筒先生監修のもと「お取り寄せ餃子・身欠きにしん・瓶詰明太子」が賞品であった。優勝は土方先生の奥さま。準優勝者を1ピン差で退けた。奥さまは景品がかかと強い!! 想定外のストライクを出してきた。それに比べて井筒家のお嬢様は一步後ろに下がって上品なボウリングを見せてくれた(笑)。来月も参加をお待ちしています。(伊藤純記)

後志歯会スキー部 ボールトレーニング

日時：平成27年2月11日 午前9時00分より

場所：いわない国際スキー場

歯科医師スキー大会に向け後志歯会スキー部はボール練習を行った。9名が参加し、岩内スキー学校指導員の岡崎有志先生の計らいで、岩内スキー少年団と合同で、午前9時から昼食をはさんで午後3時



で、競技種目である大回転の練習をした。10本ほど滑り、昨年とは違い皆怪我もなく無事に終了した。練習の成果が本番で出ればよいが。(山田一晴記)

第6回 定例理事会

日時：平成27年2月26日 午後7時30分より

場所：倶知安町 ホテル第一会館

練合会長の挨拶に始まり、引き続き各理事報告がなされた。その後、総会など次年度の会運営の日程が確認された。本年3月21日土曜日に行われる全道歯科医師スキー大会の施行にあたって、主幹事として詳細の申し送りが中川理事を中心になされた。(村山史生記)

